

令和7年における労働災害発生状況

令和7年10月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和7年 業種別労働災害発生状況 その1

令和7年10月末現在

北海道労働局

区分 業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合	令和6年確定値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	(%)	死亡	休業	合計
全産業合計	41	5,547	5,588	37	6,156	6,193	-605	-9.8	100.0	48	8,585	8,633
製造業	5	824	829	5	856	861	-32	-3.7	14.8	7	1,114	1,121
食料品	1	389	390	1	439	440	-50	-11.4	7.0	2	578	580
木材・家具		76	76		85	85	-9	-10.6	1.4		104	104
紙・印刷		14	14		14	14			0.3		17	17
窯業・土石	1	42	43		32	32	11	34.4	0.8		42	42
金属・機械	2	155	157	2	125	127	30	23.6	2.8	3	161	164
その他	1	148	149	2	161	163	-14	-8.6	2.7	2	212	214
鉱業	鉱山				2	2	-2	-100.0			2	2
	土石採取業		21		21	21			0.4		26	26
建設業	12	593	605	14	612	626	-21	-3.4	10.8	18	834	852
土木工事業	6	208	214	6	198	204	10	4.9	3.8	9	263	272
建築工事業	3	217	220	5	262	267	-47	-17.6	3.9	6	371	377
木造建築業	2	70	72	1	73	74	-2	-2.7	1.3	1	105	106
その他	1	98	99	2	79	81	18	22.2	1.8	2	95	97
交通運輸事業	1	212	213		274	274	-61	-22.3	3.8		372	372
陸上貨物運送事業	4	588	592	3	616	619	-27	-4.4	10.6	4	855	859
道路貨物運送	3	549	552	3	581	584	-32	-5.5	9.9	4	804	808
陸上貨物取扱	1	39	40		35	35	5	14.3	0.7		51	51
港湾運送業	1	12	13		17	17	-4	-23.5	0.2		19	19
林業	5	55	60	1	58	59	1	1.7	1.1	4	75	79
水産業		84	84		65	65	19	29.2	1.5		106	106
商業	5	815	820	4	851	855	-35	-4.1	14.7	3	1,174	1,177
清掃・と畜業	3	311	314		384	384	-70	-18.2	5.6		504	504
上記以外の事業	5	2,032	2,037	10	2,400	2,410	-373	-15.5	36.5	12	3,504	3,516

※ 本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

※ 死亡災害及び休業災害の件数は、本年・昨年ともに把握した件数である。

令和7年 業種別労働災害発生状況 その2

令和7年10月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

区分 業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		70	70	2	96	98	-28	-28.6	1.3	2	143	145
畜産業		219	219	3	204	207	12	5.8	3.9	4	288	292
金融・広告業		42	42		32	32	10	31.3	0.8		45	45
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業	1	136	137		153	153	-16	-10.5	2.5		198	198
教育・研究業		58	58		55	55	3	5.5	1.0		74	74
保健衛生業		943	943	1	1,273	1,274	-331	-26.0	16.9	1	1,954	1,955
接客娯楽業		354	354	1	340	341	13	3.8	6.3	2	465	467
その他の事業	4	210	214	3	245	248	-34	-13.7	3.8	3	335	338
合計	5	2,032	2,037	10	2,400	2,410	-373	-15.5	36.5	12	3,504	3,516

「第三次産業」の内訳

区分 業種別	令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和6年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	815	820	4	851	855	-35	-4.1	14.7	3	1,174	1,177
うち 小売業	4	628	632	1	674	675	-43	-6.4	11.3	1	911	912
金融・広告業		42	42		32	32	10	31.3	0.8		45	45
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業	1	136	137		153	153	-16	-10.5	2.5		198	198
教育・研究業		58	58		55	55	3	5.5	1.0		74	74
保健・衛生業		943	943	1	1,273	1,274	-331	-26.0	16.9	1	1,954	1,955
うち 社会福祉施設		531	531	1	633	634	-103	-16.2	9.5	1	882	883
うち 医療保健業		399	399		627	627	-228	-36.4	7.1		1,057	1,057
接客・娯楽業		354	354	1	340	341	13	3.8	6.3	2	465	467
うち 飲食店		151	151		136	136	15	11.0	2.7		197	197
うち 旅館業		84	84		96	96	-12	-12.5	1.5		128	128
うち ゴルフ場		41	41	1	46	47	-6	-12.8	0.7	1	55	56
清掃・と畜業	3	311	314		384	384	-70	-18.2	5.6		504	504
その他の事業	4	210	214	3	245	248	-34	-13.7	3.8	3	335	338
うち 警備業	1	50	51		64	64	-13	-20.3	0.9		80	80
合計	13	2,869	2,882	9	3,335	3,344	-462	-13.8	51.6	9	4,751	4,760

令和7年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和7年10月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	41 (9)	100.0	37 (5)	100.0	4	10.8		
製 造 業	5 ()	12.2	5 ()	12.2		—		
鉱 業	()		()			—		—
建 設 業	12 (1)	29.3	14 ()	34.1	-2	—	-3	-21.4
交 通 運 輸 事 業	1 (1)	2.4	()		1	—		—
陸上貨物運送事業	4 (3)	9.8	3 (2)	7.3	1	33.3		
港 湾 運 送 業	1 ()	2.4	()		1	—	1	—
林 業	5 ()	12.2	1 ()	2.4	4	400.0	4	400.0
そ の 他 の 事 業	13 (4)	31.7	14 (3)	34.1	-1	—	-2	-18.2

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和7年10月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 7 年		令 和 6 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
そ の 他 の 事 業	13 (4)	100.0	14 (3)	100.0	-1	—	-2	-18.2
小売業	4 (2)	30.8	1 ()	7.7	3	300.0	1	100.0
医療保健業	()		()			—		—
社会福祉施設	()		1 (1)	7.7	-1	—		—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	7.7	()		1	—	1	—
ビルメンテナンス業	2 ()	15.4	()		2	—	2	—
ゴルフ場の事業	()		1 ()	7.7	-1	—	-1	-100.0
警備業	1 ()	7.7	()		1	—	1	—
農業・畜産業	()		5 ()	38.5	-5	—	-5	-100.0
水産業	()		()			—		—
その他	5 (2)	38.5	6 (2)	46.2	-1	—	-1	-25.0

※ 本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

※ 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和7年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況
令和7年10月末現在

北海道労働局

業種別		1号				3号		4号				5号				6-2号		7-2号		8-2号		13-2号		その他業 その事業		合計	
		製造業		うち木材木 製品製造業		建設業		道路貨物 運送業		その他の 運輸業		陸上貨物 取扱業		港湾運送業		林業		水産業		小売業		社会福祉施設					
年別																											
平成25年		6				22		7		2				1		4		4		5		1		12		64	
平成26年		4				22		6		2						4		6		7		1		13		65	
平成27年		7				25		10		3		1		1		4				4				10		65	
平成28年		7				30		13		1						5		2		3		2		14		77	
平成29年		8				23		10		2						5		5		4		3		21		81	
平成30年		11		1		17		11								6				6		1		11		63	
令和元年		10				20		6		2						8		1		2				13		62	
令和2年		6		1		14		4		3		2				4		3		2				13		51	
令和3年		3		1		20		8		1						1		3		5				18		59	
令和4年		5				23		5		1						1		2		3		1		12		53	
令和5年		4				6		10		1						4		1		2				23		51	
区分 月別 年別		当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計
令和 6年	1月					1	1	1	1							1	1						2	2	5	5	
	2月					2	3		1								1			1	1		1	3	4	9	
	3月	1	1			2	5		1								1				1		1	4	4	13	
	4月						5		1								1				1		2	6	2	15	
	5月		1			1	6		1								1				1		2	8	3	18	
	6月		1			2	8	1	2								1				1		2	10	5	23	
	7月	2	3				8		2								1				1			10	2	25	
	8月	1	4			2	10	1	3								1				1	1		10	5	30	
	9月		4			2	12		3								1				1		1	11	3	33	
	10月	1	5			2	14		3								1				1		1	11	3	36	
	11月		5			4	18	1	4							2	3				1		1		11	7	43
	12月	2	7				18		4							1	4				1		1	2	13	5	48
令和 7年	1月	1	1			3	3	1	1							2	2			2	2			3	3	12	12
	2月	1	2			2	5		1							1	3				2			2	5	6	18
	3月		2				5	1	2							2	5				2			2	7	5	23
	4月		2				5		2								5				2				7		23
	5月		2			3	8		2								5				2				7	3	26
	6月		2				8	1	3								5			1	3			1	8	3	29
	7月	1	3			1	9		3								5			1	4				8	3	32
	8月		3			2	11		3			1	1				5				4			1	9	4	36
	9月	1	4			1	12		3				1	1	1		5				4				9	3	39
	10月	1	5				12		3	1	1		1		1		5				4				9	2	41
	11月		5				12		3		1		1		1		5				4				9		41
	12月		5				12		3		1		1		1		5				4				9		41
対前 年同期 比	件数	±0	±0	±0	±0	-2	-2	±0	±0	1	1	±0	1	±0	1	±0	4	±0	±0	±0	3	±0	-1	±0	-2	-1	5
	百分率	±0	±0	±0	±0	-	-14.3	±0	±0	100.0	100.0	±0	100.0	±0	100.0	±0	400.0	±0	±0	±0	300.0	±0	-	±0	-18.2	-33.3	13.9

※ 本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。

※ 本年及び昨年は速報値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
令和7年10月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1	3	4	5	6-2	7-2	8-2	13-2	その他 の 事 業	起因物番号		11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99						
	業種		製	建	道	そ	陸	港	林	水		小	社	起 因 物	原	動	木	建	金	一	車	食	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	そ の 他 の 装 置 設 備	仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	床 面 ・ 通 路	危 険 物 ・ 有 害 物 等	材 料	荷 重 等	自 然 環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し	類 不 能					
	事故の型		業	業	業	業	業	業	業	業		業	設	計	機	機	械	械	械	械	械	等	械	等	機	物	器	器	置	等	備	等	具	備	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等			
1	墜落、転落		2	6								3	11				2					1		1						3		4															
20		2m以上からの	2	3								1	6				1							1								4															
21		2m未満からの		3								2	5				1					1							3																		
2	転倒			1									1				1																														
22		滑り																																													
23		つまづき																																													
24		踏み外し																																													
25		もつれ等																																													
26		その他の転倒		1									1				1																														
3	激突																																														
4	飛来、落下						1					1	2										2																								
5	崩壊、倒壊			1									1																				1														
6	激突され							5					5							1																				4							
7	はさまれ、巻き込まれ		2	1			1				1	3	8		1		1		2			1	2	1																							
8	切れ、こすれ																																														
9	踏抜き																																														
10	おぼれ		1										1																													1					
11	高温、低温の物との接触			1									1																													1					
12	有害物等との接触			1									1																													1					
13	感電																																														
14	爆発																																														
15	破裂																																														
16	火災																																														
17	交通事故(道路)			1	3	1					2	2	9				2						2	5																							
18	交通事故(その他)																																														
19	動作の反動・無理な動作																																														
27		腰痛																																													
28		転倒もどき																																													
29		その他の動作の反動、無理な動作																																													
90	その他										1		1																							</											

令和7年 署別・業種別死亡災害発生状況
令和7年10月末現在

北海道労働局

業種別 署別	1号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	8-2号	13-2号	その 他 事 業	合 計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	建 設 業	道 路 貨 物 運 送 業	そ の 他 の 運 輸 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	港湾運送業	林 業	水 産 業	小 売 業	社会福祉施 設		
札幌中央			1									2	3
札幌東			3	1						1		1	6
函 館	1							3		1		1	6
小 樽													
岩 見 沢												1	1
旭 川												2	2
帯 広	1		4		1			1				1	8
滝 川			1										1
北 見			1	1				1					3
室 蘭	1									1		1	3
釧 路													
名 寄													
留 萌													
稚 内			1							1			2
浦 河	1												1
苫小牧	1			1		1	1						4
倶知安 (支)			1										1
計	5		12	3	1	1	1	5		4		9	41

※ 本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和7年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和7年10月末現在

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業					交通運輸事業	陸上貨物運送事業			港湾運送業	林業	水産業	商 業			社会福祉施設	飲食店	清掃・と蓄業	左記以外の事業	対前年比増減率
		計	食料品製造業	木材・家具	紙・印刷	窯業土石製品	金属・機械	その他製造業	鉱山	土石採取業	計	土木工事業	建築工事業	木造建築業	その他建設業		計	道路貨物運送業	陸上貨物取扱業				計	小売業	その他商業					
札幌中央	1,149	103	31	6	1	1	26	38		1	87	13	44	4	26	60	111	99	12				190	136	54	163	44	94	296	-16.2%
	963	72	28	7	1	1	21	14		2	74	11	39	5	19	60	86	81	5				183	132	51	110	44	76	256	
札幌東	1,342	158	91	4	2	2	28	31			123	31	63	9	20	111	203	189	14				233	192	41	129	24	96	265	-14.1%
	1,153	148	82	3	2	2	33	26			119	36	44	17	22	52	169	141	28				211	162	49	126	27	85	216	
函館	554	89	64	6		4	9	6		2	51	21	25	3	2	7	44	42	2	1	5	10	56	48	8	42	6	24	217	-14.4%
	474	88	47	8		3	21	9		1	63	32	15	12	4	10	36	36		1	12	5	60	55	5	30	17	18	133	
小樽	246	46	27	2			2	15		2	18	7	10		1	29	16	16		1	1	1	21	21		33	2	19	57	-26.0%
	182	42	26	2			5	9		1	14	7	1	4	2	14	20	20		1	1	3	19	16	3	18	4	8	37	
岩見沢	159	35	15		1	9	1	9	1	1	21	14	5	1	1	5	16	16			2		25	25		17	2	6	28	-3.1%
	154	35	15			9	7	4		2	26	10	7	5	4	3	8	8			1		15	14	1	8	4	5	47	
旭川	486	66	16	15		4	12	19		4	45	17	22	3	3	12	44	44			8		55	44	11	66	18	37	131	-3.5%
	469	68	29	10	1	3	8	17		2	58	32	19	5	2	9	51	51			5	1	70	50	20	69	17	30	89	
帯広	419	63	39	12			5	7		4	49	17	21	1	10	2	40	40		1	14		61	50	11	26	12	19	128	-6.4%
	392	68	33	5			13	17		5	39	13	10	2	14	7	41	39	2	2	10	4	52	38	14	35	6	15	108	
滝川	126	25	10	3	1	2	4	5	1		26	11	10	2	3	3	9	9			2		17	12	5	7	3	11	22	-11.9%
	111	24	5	2	2	3	6	6		1	17	10	4		3	2	10	10			2		15	14	1	15	3	6	16	
北見	275	45	24	10		1	5	5		1	33	18	13		2	6	15	15			7	12	40	28	12	28	2	8	78	-6.2%
	258	53	23	15		5	6	4			28	12	10	2	4	8	22	22			9	9	42	30	12	19	5	15	48	
室蘭	175	18	5			2	8	3			22	4	15	2	1	4	16	16		2	2	1	37	32	5	28	1	16	28	12.6%
	197	22	6	1		1	9	5		1	24	6	12	1	5	4	14	14			1	2	25	22	3	15	8	19	62	
釧路	349	72	44	11			6	11		2	50	17	28	3	2	8	32	32		3	5	17	39	31	8	25	4	13	79	-9.7%
	315	65	34	6		2	8	15		1	35	10	18	4	3	8	36	36		3	8	16	38	33	5	33	2	11	59	
名寄	91	18	10	4			2	2			17	8	8		1	1	5	5			4	5	5	3	2	5	1	3	27	22.0%
	111	17	6	9		1		1		2	15	6	5	2	2	1	11	10	1		6	14	12	10	2	5	2	3	23	
留萌	39	8	5	1		1		1			5	3	2			1	1	1			2	2	1	1		10	1	2	6	-5.1%
	37	10	8	1				1			9	5	2	1	1		3	3				5	4	3	1	2			4	
稚内	80	12	9	2		1				1	14	6	5	2	1	1	4	4			1	8	9	5	4	15		5	10	-5.0%
	76	16	12				1	3			20	8	8	1	3	2	3	3				18	4	3	1	2		2	9	
浦河	135	8	5	1				2			4	2	1		1	2	6	5	1		4	7	2	2		2	1	1	98	-7.4%
	125	3	1	1				1		1	7	2	1	4			5	5				5	3	3		2	1	1	97	
苫小牧	457	80	32	6	4	5	19	14		3	46	8	30	2	6	20	54	48	6	9	1		51	41	10	23	13	27	130	0.2%
	458	87	24	6	4	13	19	21		1	38	8	20	2	8	29	72	68	4	6	4		52	41	11	36	7	18	108	
倶知安 (支)	111	15	13	2							15	7	6	1	1	2	3	3			1	2	13	4	9	15	2	3	40	1.8%
	113	11	11							1	19	6	5	5	3	4	5	5			1	2	15	6	9	6	4	2	43	
合計	6,193	861	440	85	9	32	127	168	2	21	626	204	308	33	81	274	619	584	35	17	59	65	855	675	180	634	136	384	1,640	-9.8%
	5,588	829	390	76	10	43	157	153		21	605	214	220	72	99	213	592	552	40	13	60	84	820	632	188	531	151	314	1,355	
対前年比増減率	-9.8	-3.7	-11.4	-10.6	11.1	34.4	23.6	-8.9	-100.0		-3.4	4.9	-28.6	118.2	22.2	-22.3	-4.4	-5.5	14.3	-23.5	1.7	29.2	-4.1	-6.4	4.4	-16.2	11.0	-18.2	-17.4	

※ 本統計は、「業種別労働災害発生状況」を管轄署別に集計したものであり、上段は前年、下段は当年である。

令和7年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和7年10月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	1	3	4	5		6-2	7-2	8-2	13-2	その他の事業	起因物番号 起因物	11	12	13	14	15	16	17	18	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	42	51	52	61	71	91	92	99	
		製	建	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	小売業			社会福祉施設	原動機	動力電動機	木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	食品加工用機械	力クレーン等	力運搬機	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	床面・通路	危険物・有害物等	材料	荷	然環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能
1	墜落、転落	92	180	146	14	2	3	5	9	68	32	244	795			20	1	6	2		7	160	15					3	214	12	259	28			17	45	2	3	1		
20	2m以上からの 2m未満からの	12	64	24	3		1	3	1	2	4	40	154			7					1	20	2							29		74	7			6	6		1	1	
21		80	116	122	11	2	2	2	8	66	28	204	641			13	1	6	2		6	140	13					3	185	12	185	21			11	39	2	2			
2	転倒	230	80	131	75	9	2	7	11	300	201	698	1744			1	3		1	2		3	16	29				1	19	31	14	40	1373		1	9	30	8	163		
22	滑り つまづき 踏み外し もつれ等 その他の転倒	106	44	82	51	3	1	4	7	173	106	348	925			1		1			2	7								2		8	898				6				
23		81	18	19	9	4	1	1			70	39	163	405							1	3	1				1		9	4	7	370			4		1	4			
24		11	5	9	2	1					14	7	26	75			1						2	1					2	2	18	48				1					
25		16	5	2	7						23	27	70	150										2					3	2	2		16				2	123			
26		16	8	19	6	1		2	4	20	22	91	189				2			2			4	25					16	16	6	7	41		1	5	23	5	36		
3	激突	38	19	39	8	5	1	3	4	18	22	93	250			1	6	1	4		1	2	31	14					24	31	24	42	37		3	4	14	2	9		
4	飛来、落下	36	43	25	1	4		8	3	24	9	42	195		1	2	4	3	10		1	4	9	1	1				10	40	13	12	1	1	33	37	11	1			
5	崩壊、倒壊	10	18	2		2		2	1	3		10	48					1				2							4	7	2	3			15	8	6				
6	激突され	35	34	23	6	2	1	13	10	20	11	119	274			3	10	1	7	1	3	12	24	14			2	31	16	3	8	2		9	12	101	3	12			
7	はさまれ、巻き込まれ	182	78	54	8	4	4	6	26	29	8	131	530	2	8	19	18	22	63	1	42	21	83	24	2	1		52	28	24	34	2		20	30	25	3	5			
8	切れ、こすれ	78	51	7	1	1	1	7	2	32	14	84	278		1	52		17	23		38		1					88	21	7	2			20	3	3	2				
9	踏抜き		2	1	1					2	2		8																2	1		1		3	1						
10	おぼれ	1	1									2	4																			1				3					
11	高温、低温の物との接触	27	10	3	1	1		2	3	13	1	40	101					3				1	1	1		2	3			10	14	1		9	4		49	2	1		
12	有害物等との接触	6	4	2					1	1	1	8	23													1			1	2			11	1		4	2	1			
13	感電											1	1														1														
14	爆発	1			1								2																			1		1							
15	破裂	1								1			2											2																	
16	火災	2		1								1	4									1									1			2							
17	交通事故(道路)	8	30	34	30					18	11	75	206				2				2	35	152							1			9		1		3		1		
18	交通事故(その他)		1		2			1				4	8									1	6					1													
19	動作の反動・無理な動作	80	45	84	28	10	1	6	10	94	152	252	762				3		2		1	1	20	11	1		1		18	38	10	39	127		12	131	35	32	280		
27	腰痛 転倒もどき その他の動作の反動、無理な動作	17	6	9	9	3		2		33	67	66	212									2	3					4	5	3	2	2		1	55	13	19	103			
28		20	17	23	7	1		1	1	17	17	54	158										3	1					2	5	2	13	93		2	3	2	2	30		
29		43	22	52	12	6	1	3	9	44	68	132	392				3		2		1	1	15	7	1		1		12	28	5	24	32		9	73	20	11	147		
90	その他	2	9		37				4	9	66	224	351																2							19	312	15	3		
99	分類不能										1	1	2																								1			1	
合 計		829	605	552	213	40	13	60	84	632	531	2029	5588	2	10	78	66	46	119	6	86	52	384	267	7	1	3	5	4	250	442	127	441	1581	24	122	252	348	370	490	5

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	9時台	輸送用機械等製造業	50人以上 99人	墜落、転落	乗物 239	被災者は、船舶の試運転業務において、アンテナにワイヤーが引っ掛かっていたため、マストの垂直はしごに登り、マストの踊り場へ移動して引っ掛かっていたワイヤーを外したところ、踊り場付近のレーダーアンテナが突然回転し、4.8メートル下の甲板まで墜落したものの。
7	2	14時台	電気・ガス・水道業	10人以上 29人	墜落、転落	仮設物、建築物、構築物 414	被災者は、同僚と2名で放水ダムの設備の点検作業に従事していた際、放水口制水門を開閉する巻き上げ機の取付け位置にある開口部を塞ぐ蓋板（重さ約30kg）の位置がずれていたため、2名で蓋の位置を調整しようとしたところ、誤って開口部から蓋板を落としてしまい、蓋板の重みに引っ張られた被災者が開口部から10m以上墜落したものの。
7	7	9時台	窯業土石製品製造業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	動力クレーン等 211	被災者は、クレーンを使用して専用架台に立てかけられていた鋼板19枚のうち1枚を1点吊りでつり上げようとしたところ、鋼板19枚全てが被災者側に倒れ、倒れた鋼板と背後に置かれていた鋼管の間に挟まれたものの。
7	9	13時台	一般機械器具製造業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	被災者は、上下開閉式の蓋が設けられた機械設備の修理の作業において、設備の蓋を開く操作を行ったが蓋が開かなかったため、蓋の確認に行ったところ、蓋が開き、蓋とその付近の架設通路との間で被災者が胸部を挟まれたものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	10	11時台	食料品製造業	10人以上29人	おぼれ	環境等 713	被災者は、工場の貯溜池において、池に浮く藻を除去する作業を1人で行っていた者が、当該貯溜池で水に浮かんでいる状態で発見されたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落、転落	3 7 2 用具	被災者は、高さ約2メートルの箇所の壁に石膏ボードを貼り付けるため、脚立の上から2段目の踏みさんにまたがって、地面に置いた石膏ボードを持ち上げた際、脚立から墜落したものの。
7	1	10時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、 建築物等 4 1 1	被災者は、屋上防水工事のため現場に入場し、外部足場のブラケットに設置した荷の上げ下ろし用電動ウインチを取り外そうとした際、足場の筋かい、下枠等を取り外し、要求性能墜落制止用器具を使用せず作業をしていたため、17.6メートル下の地上部まで墜落したものの。
7	1	15時台	建築工事業	10人以上 29人	崩壊、倒壊	仮設物、 建築物等 4 1 5	被災者は、鉄骨造2階建て建築物の解体工事現場において、屋上部の床を支える鉄骨梁をガス溶断していたところ、当該梁を切りすぎたため折損し、屋上の床部分が落下、2階で作業を行っていた被災者が下敷きとなったものの。
7	2	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、 建築物 4 1 4	被災者は、食料品製造工場の新築工事現場において、天井断熱パネルを屋根骨材から吊った後の吊り具のゆるみの点検作業に従事していたが、天井裏を移動中にブルーシート養生が施された開口部から5.8メートル下の床面まで墜落したものの。
7	2	14時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	動力クレーン等 2 1 2	被災者は、移動式クレーンに積もった雪の除雪作業を行っていた際、移動式クレーンの操作レバー上部の除雪のため、移動式クレーンの基部と荷台の鳥居部分の間に足をかけたところ、足を踏み外し、体がアウトリガーと運転席側の荷台壁面の間に挟まったとみられるもの。
7	5	14時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落、転落	建設機械等 1 4 2	被災者は、一般住宅新築工事現場の外構作業において、既存の擁壁を嵩上げするため、ドラグ・ショベルを運転し当該擁壁の周囲を掘削して付近に堆積させていたが、当該掘削土をドラグ・ショベルで乗り越えようとしたところ脚部が横滑りして斜面から転落し、その際に運転席から投げ出され、斜面の下部においてドラグ・ショベルの下敷きとなったものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	5	13時台	その他の建設業	10人未満	有害物との接触	環境等 7 1 4	排水処理場の汚泥槽（コンクリート槽、縦1m×横0.5m×深さ5.3m）の中にある装置の交換作業をするため、換気等の何らの措置を講じずに入槽した。汚泥槽内部の低部付近で異臭が強くし、脱出しようとしたが意識不明となり、救助後、死亡が確認されたもの。
7	5	8時台	土木工事業	10人以上29人	転倒	建設機械等 1 4 1	被災者は、ブルドーザーを運転して盛土の敷均し作業に従事していたが、ブルドーザーを停止して履帯の上に立ち、姿勢を変えた際、操作レバーに触れてしまったためブルドーザーが前進し、履帯上で転倒して体を打ち付けたもの。
7	7	18時台	土木工事業	10人以上29人	高温・低温の物との接触	環境等 7 1 5	被災者は同僚と共に土場で資材の運搬作業に従事し、午後に資材運搬作業を終え、同僚は土場から離れた。その後当該事業場の幹部職員が土場に訪れた際、倒れている被災者を発見したもの。
7	8	11時台	土木工事業	10人以上29人	墜落、転落	建設機械等 1 4 4	被災者は、橋梁工事用の作業道の造成のため、乗用のローラーを運転し、砂利道の転圧作業を行っていたところ、路肩からローラーごと転落したもの。
7	8	8時台	土木工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、道路パトロール業務において、トンネルの中央線付近にあった動物の死骸を回収するため、道路パトロール車を停車させて作業を行っていたところ、反対車線を走行していた一般乗用車にひかれたもの。
7	9	10時台	土木工事業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 1 4 1	被災者は、農業用水路工事現場において、用水路を埋設した盛土上で取付道路の舗装のための丁張りの作業に従事していたが、被災者の近傍で当該盛土の法面整形作業を行っていたドラグ・ショベルが被災者に向かって後進し、被災者を轢いたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	2時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、乗用車による配送業務を行っていたところ、赤信号の交差点に停止していたダンプカーの後方に追突したもの。災害発生当時、路面は濡れていたが、ブレーキ痕は見当たらなかった。
7	3	11時台	道路貨物運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、セミトレーラをけん引して走行中、路面がアイスバーンのためカーブでスリップして路肩に転落し、キャビンが電柱と接触したもの。
7	6	10時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、大型トレーラーによる運搬業務中、カーブに差し掛かったところ、速度超過のため路外に逸脱して横転し、運転席の外部へ投げ出され、車体の下敷きとなったもの。
7	8	5時台	陸上貨物取扱業	30人以上49人	飛来、落下	トラック 2 2 1	被災者は、セメント粉が入ったタンクローリーの荷台上で作業を行っていたところ、タンク上部にある鉄製の注入口ハッチの蓋が飛来し、被災者の顔面に直撃したもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 林業災害における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	1	10時台	林業	10人未満	激突され	車両系木材伐出機械等 171	被災者は、チェーンソーと木材グラップル機との共同作業においてチェーンソーによる作業を担当し、被災者が受け口、追い口を作った立木をグラップル機が引き倒し、木寄せしたところ、木材グラップル機又はつかんでいた立木が被災者に激突したものの。
7	1	15時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていたが、作業終了時刻になっても戻らず、伐倒木の下で倒れた状態で発見されたもの。
7	2	9時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーによる立木伐倒作業に従事していたが、伐根直径約50cmの立木を伐倒した際に、当該立木が縦に裂け、裂けた元玉部分が被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業の補助としてクサビを打つ作業を行っていたが、伐倒中の立木が伐倒方向と逆方向に倒れたことから退避したところ、倒れた立木がすでに伐倒していた木に当たり、退避していた被災者に激突したものの。
7	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等 712	被災者は、チェーンソーを用いた伐倒作業を行っていたが、伐倒木の伐倒方向が想定からずれたことにより、伐倒木が跳ね、被災者に激突したものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	1	6時台	小売業	30人以上 49人	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は新聞配達作業に従事する労働者で、顧客宅付近にて乗用車から降りていたところ、坂の上から走行してきたタイヤショベルが路面凍結によりスリップし、停車しきれず被災者の乗用車に追突し、これに押される形で被災者が当該乗用車に轢かれ下敷きになり、さらに同方向からやってきた別の乗用車が被災者の乗用車に追突したため、下敷きになったまま2mほど引きずられ死亡したもの。
7	1	13時台	その他の事業	30人以上 49人	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者は、同僚とともに高さ5.7mの屋根の上にて、墜落防止措置を講じず、スコップを使用して雪下ろし作業をしていたところ、屋根に堆積していた雪が滑り落ちたことで、背部から雪がなだれ込み、足をとられ、屋根の端から墜落したもの。被災者は2名、うち1名が死亡した。
7	1	15時台	その他の事業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 231	被災者は、社用車で出張先から所属事業場に戻る際に高速道路を走行中、インターチェンジ付近でクッションドラムに衝突したもの。
7	1	14時台	通信業	300人以上	交通事故（道路）	建設機械等 141	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。
7	2	8時台	警備業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 372	被災者は、廊下の電球の取替作業のため脚立を使用していたところ、脚立の上から転落し、額を床にぶつけたもの。
7	3	13時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 162	被災者は、金属くず及び産業廃棄物の破砕処理を行うプラント内の風力選別機から異物を除去する作業中、風力選別機の回転部に、右腕と頭部が巻き込まれたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
7	2	13時台	清掃・と畜業	10人未満	墜落、転落	372 用具	被災者は、蛍光灯の交換のために高さ1.5メートルの脚立を使用していたところ、脚立上でバランスを崩し墜落したものの。ヘルメットは未着用であった。
7	3	9時台	その他の事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	229 動力運搬機	被災者は、他の作業員とともに立体駐車場の定期点検を行っていたが、上階に移動するために搬器に乗り込み、別の作業員が操作盤で搬器を動かしたところ、搬器の外枠の支柱とガイドレールに被災者の頭部が挟まれたものの。
7	1	5時台	小売業	50人以上99人	交通事故（道路）	231 乗物	被災者は、新聞配達業務中、他者が運転する自家用車の後部座席に乗り道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップし、道路脇の電柱に激突したものの。
7	6	13時台	清掃・と畜業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	121 動力伝導機構	被災者は、観覧車の点検台の上で、観覧車を運転した状態で、動力を受ける内輪に注油作業をしていたところ、動力を伝達する歯車と内輪との間に挟まれたものの。
7	6	13時台	小売業	10人以上29人	はさまれ、巻き込まれ	239 乗物	被災者は、顧客自宅前の坂道に車を停めた後、車両から離れたところ、当該車が逸走し始めたため、とっさに車両を止めようと車両の進行方向の前方にまわったが停止させることができず、ガードレールと車に下腹部を挟まれたものの。
7	7	2時台	小売業	10人以上29人	その他	719 環境等	被災者は、自転車で住宅街の新聞配達中、熊に襲われたものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

令和7年 その他の業種における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
7	8	14時台	卸売業	10人未満	飛来、落下	動力運搬機 2 2 2	被災者は、フォークリフトのフォーク部に小型のドラグ・ショベルを乗せて持ち上げた状態にした後、ドラグ・ショベルの下に潜り込んで作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルがフォーク部から滑り落ち、被災者に当たったもの。
7	9	18時台	港湾運送業	30人以上49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 2	被災者は、荷捌き場において、伝票をトラック運転手に渡す業務を行っていたところ、後進してきたフォークリフトに轢かれたもの。
7	10	22時台	道路旅客運送業	30人以上49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、タクシーの運転業務中、交差点を直進していたところ、交差点に進入してきた乗用車に側面から衝突されたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。

死亡労働災害の概要(令和7年10月把握分)

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災害の状況
7	10	11時台	食 料 品 製 造 業	10 人 以 上 29 人	お ぼ れ	環 境 等 7 1 3	被災者は、工場の貯溜池において、池に浮く藻を除去する作業を1人で行っていた者が、当該貯溜池で水に浮かんでいる状態で発見されたもの。
7	10	22時台	道 路 旅 客 運 送 業	30 人 以 上 49 人	交 通 事 故 （ 道 路 ）	乗 物 2 3 1	被災者は、タクシーの運転業務中、交差点を直進していたところ、交差点に進入してきた乗用車に側面から衝突されたもの。

※本件事例には、脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは、掲載していません。